

令和5年度日本表面真空学会東北・北海道支部学術講演会プログラム

令和6年3月6日(水), 7日(木)

北海道大学創成研究棟(ハイブリッド)

3月6日(水) 13:05~17:30

13:05~13:10 開会挨拶

日本表面真空学会東北・北海道支部長(北大工)

島田 敏宏

13:10~14:10 招待講演(30分)

【I-01】 異種相界面における高分子の動的振舞い

九州大学大学院工学府

田中 敬二

【I-02】 小型パルス電源を用いたプラズマの生成と環境・農業への利用

岩手大学

○高橋 克幸、高木 浩一

14:10~14:25 休憩

14:25~15:40 一般講演(発表15分, 質疑9分, 交代1分)

【O-01】 グラフェン酸化処理による粒径と電気抵抗率変化

(日大¹、産総研²) 櫻村悠人¹、沖川侑揮²、岡田光博²、○小川修一¹、山田貴壽²

【O-02】 赤外レーザー蒸着法と水素化ホウ素化合物薄膜を基盤とする新物質転換・形態制御戦略

(東北大院工) ○神永健一、佐々木啓太、佐藤匠、村上響、丸山伸伍、松本祐司

【O-03】 キラル氷 III/水界面で水から分離する同素不混和水のスピノーダル様キラル秩序

(東北大多元物質科学研究所) ○新家寛正、山崎智也、灘浩樹、羽馬哲也、香内晃、押切友也、中川勝、木村勇氣

15:40~15:55 休憩

15:55~16:20 一般講演(発表15分, 質疑9分, 交代1分)

【O-04】 四面体鎖を有するホスト構造とする新規活物質 Na_2MS_2 の開発

(北大 理学研究院) ○奈須滉、小林弘明、松井雅樹

16:20~17:00 一般講演(発表10分, 質疑9分, 交代1分)

【O-05】 原子平坦アモルファス TaO_x 薄膜を用いた電子シナプス素子動作原理の直接観察

(北大院情報¹、東工大元素セ²、北大電子研³) ○福地厚¹、片瀬貴義²、太田裕道³

【O-06】 遷移金属ダイカルコゲナイドをチャンネル材料に用いた電界効果トランジスタによる分子認識の研究

(北大院工¹, 東北大多元研², 産総研³) ○和泉廣樹^{1,2,3}、高岡毅²、安藤淳³、米田忠弘²

17:00~17:30 招待講演 (30分)

【I-03】 高分子摩擦・潤滑界面における分子変化の力学-分光複合測定による研究

小松大学生産システム科学部

粕谷 素洋

3月7日 (木) 9:00~14:00

9:00~10:15 一般講演 (発表10分, 質疑4分, 交代1分, 下線: 学生講演賞対象講演)

【O-07】 表面フォノン放射の高精度な有限要素解析に向けた検討

(*日大工、**東北大) ○清田将生*、四方潤一*、大野誠吾**、俵毅彦*

【O-08】 DOSモデルに代わる新たなSi(001)表面酸化モデルの提案

(¹日大、²原子力機構、³東北大) ○古西浩志¹、津田泰孝²、吉越章隆²、高桑雄二³、小川修一¹

【O-09】 二酸化バナジウムナノ粒子の抵抗の温度依存性

(¹日大工、²日大理工、³量子科学技術研究開発機構) ○近藤周¹、柴山恭陸¹、佐藤現¹、高瀬浩一²、山本洋揮³、秋葉圭一郎³、羽田野剛司¹

【O-10】 hBN/グラフェン/hBN量子ドットデバイス作製

(日本大学工学部) ○山内皓太、福井雄大、池本大輝、津島弘季、沼田 靖、羽田野 剛司

(物質・材料研究機構) 渡邊 賢司、谷口 尚、岩崎 拓哉

【O-11】 ホモシステイン修飾Au電極におけるラッカーゼ固定化と酸素還元活性

(¹北大院環境、²北大院地球環境) ○星野翔悟¹、岡紗雪¹、加藤優^{1,2}、八木一三^{1,2}

10:15~10:30 休憩

10:30~11:30 一般講演 (発表10分, 質疑4分, 交代1分, 下線: 学生講演賞対象講演)

【O-12】 Si(15 17 3)高指数表面のRHEED, STMによる研究

(東北大多元物質科学研究所¹、東北大学SRIS²、東北大学理学研究科³) ○テレント雛子¹、李博環¹、虻川匡司^{1,2}、芳賀健也³

【O-13】 Si(110)面16x2構造の表面構造研究

(東北大多元研) ○リハクガン、青山大晃、山本孟、虻川匡司

【O-14】 σ -アントラニル酸の修飾によるTiO₂(110)表面の銅原子分散とその構造決定

(北大院工¹・北大工²・北海道大学触媒研究所³・高エネ研⁴) ○金チョロン¹、前田ほのか²、魯邦³、中村優斗¹、林韻立¹、脇坂祐輝³、城戸大貴⁴、高草木達³、朝倉清高^{1,3}

【O-15】 *In-situ* PTRF-XAFS application for Pt model catalyst structure investigation toward ORR

(Institute for Catalysis, Hokkaido University) ○Kaiyue DONG, Daiki KIDO, Chenghao YANG, Bing HU, Soichi TOMIDOKORO, Satoru TAKAKUSAGI, and Kiyotaka ASAKURA

(Tokyo Medical and Dental University) Takahiro WADA

11 : 30～12 : 00 招待講演 (30 分)

【I-04】 超高温真空昇温脱離法で拓く新材料開発

東北大学多元物質科学研究所

吉井 丈晴

12 : 00～12 : 45 休憩

12 : 45～13 : 45 招待講演 (30 分)

【I-05】 スピン偏極 STM によるナノ磁性・局所スピン物性の開拓

東北大学材料科学高等研究所

岡 博文

【I-06】 高配向酸化物自立膜の合成と機能

北海道大学電子科学研究所

片山 司

13 : 45～14 : 00 閉会挨拶および受賞者発表

日本表面真空学会東北・北海道支部副支部長 (東北大工)

松本 祐司

参加方法（発表者、聴講者）

※発表者：全員 Zoom を使って発表していただきます。発表の時間の 15 分前までには Zoom に入室し、カメラとマイクは OFF にして待機ください。講演の順番になりましたら、座長の指示にしたがって発表資料の画面共有を行いカメラとマイクを ON にして発表してください。

なお、現地で発表される方は PC をご持参ください。ネットワーク環境は会場に用意します。

※聴講者：口頭講演中は、原則カメラとマイクは OFF にしたままでお願いします。質問は、質疑時間にマイクを ON にして、所属とお名前を述べてから座長の指示にしたがって発言ください。
